

Global Movie Experience Innovation 2020

【新・臨場体験映像システム】臨場感あふれる映像技術が生み出す「ワクワク」を、世界中の人と一緒に



Innovation
for Everyone
2020

社会情勢 / 社会課題

日本の映像産業は世界でもトップレベルのクオリティで「クールジャパン」の代表として様々な国で支持を集めており、アニメーション、ゲーム、4K/8K映像などをはじめ関連産業全体で発展が見込まれる分野として期待が寄せられている。

長期ビジョン

世界を驚かせる日本発の新たな映像技術を創造し、国内関連産業を活性化する。

東京大会での役割

大会開催中の観戦者にいっそう大きな驚きと感動を与えると同時に、世界に日本の技術開発力をPRする。

3つの手段

1

ソーシャルインパクト

日本ならではの強みを活かした世界に先駆けた映像技術やコンテンツの発信。

2

大会ホスピタリティ

大会中のイベントや観戦時の演出に活用し、より大きな驚きや感動を生む。

3

シェアードバリュー

競技場における感動や興奮を、時や場所を超えて誰もが味わえるようにする。

2020年に向けたコンセプト

Global Movie Experience Innovation 2020

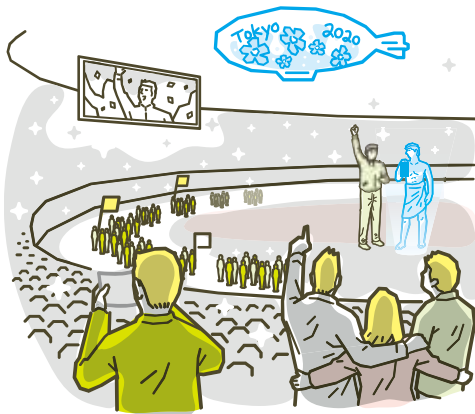
新・臨場体験映像システム

臨場感あふれる映像技術が生み出す「ワクワク」を、世界中の人と一緒に

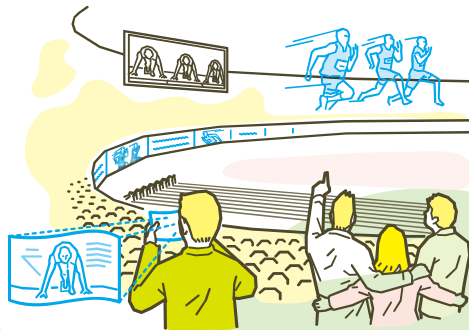
展開イメージ

2020オリンピック・パラリンピック東京大会の開閉会式や競技シーンを世界に先駆けた新たな映像技術により演出・配信することで、見る者に驚きと感動を与えとともに、世界に日本の技術力をアピールする

新しい映像技術を組み合わせた
記憶に残る開閉会式の演出

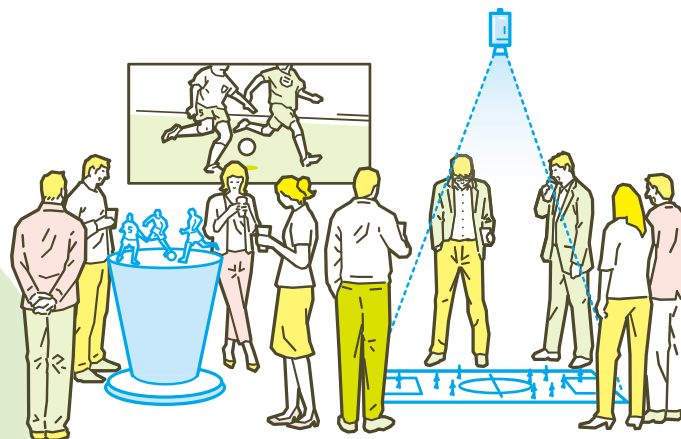


大迫力の立体映像やシートディスプレイで
新しいスタイルの競技観戦を実現



Scene1 競技会場

競技会場にいなくても
ユニークで楽しい観戦スタイルが誕生！

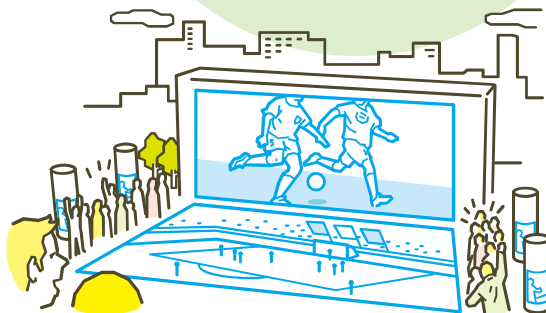


Scene2 街の中

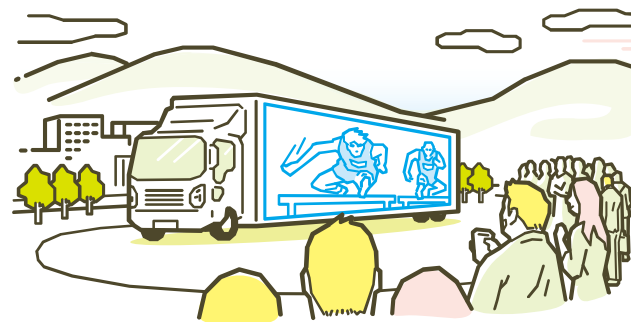
チケットを兼ねる電子ペーパーに
競技状況や選手データを
タイムリーに配信



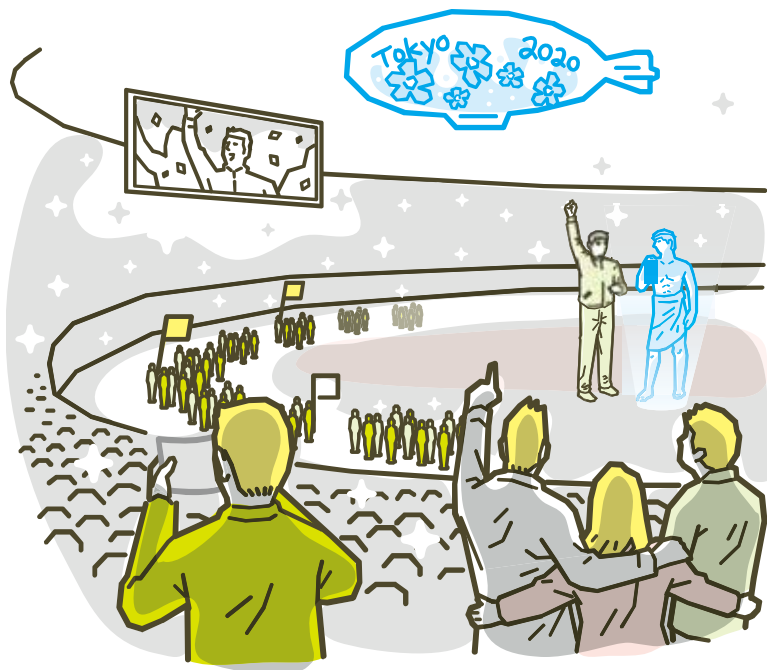
ビルにも貼れるシートディスプレイで
高精細な屋外パブリックビューイングを実現！



大型シートディスプレイを搭載したトラックで
地方でも大興奮のパブリックビューイング！

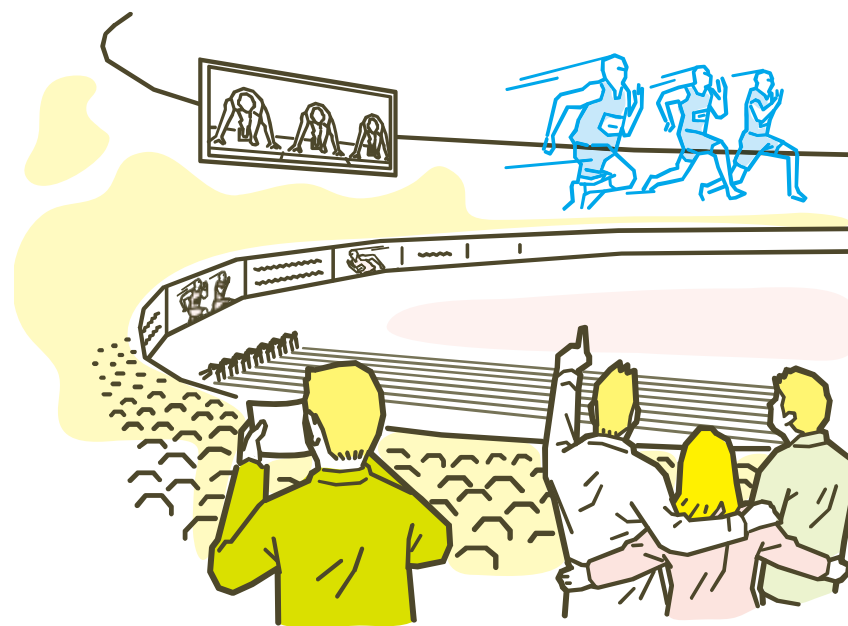


多視点映像の撮影・圧縮・記録・伝送技術、多視点映像表示技術、新型プロジェクションマッピング技術を開発し、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会までにメーカーが製品化できるよう、研究開発を実施しています。



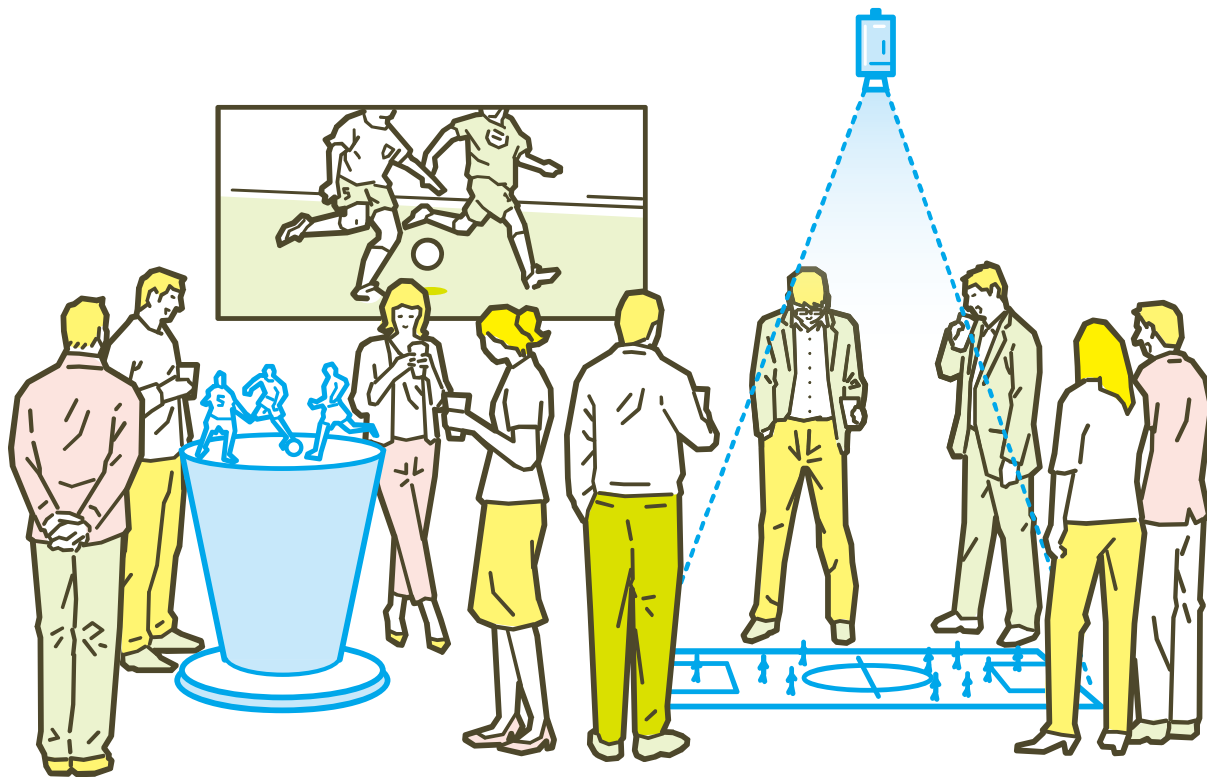
■ 新型プロジェクションマッピング技術

巨大な浮遊物体や移動する物体等に動画を表示できるように、驚きの演出を実現します。



■ 多視点映像

透明スクリーン等の大型ディスプレイ技術により、競技場のどこからでも映像を楽しめるようになります。



立体映像

テーブルトップに360°から見る可以实现する事で、テーブルを囲んで皆で楽しめるようになります。

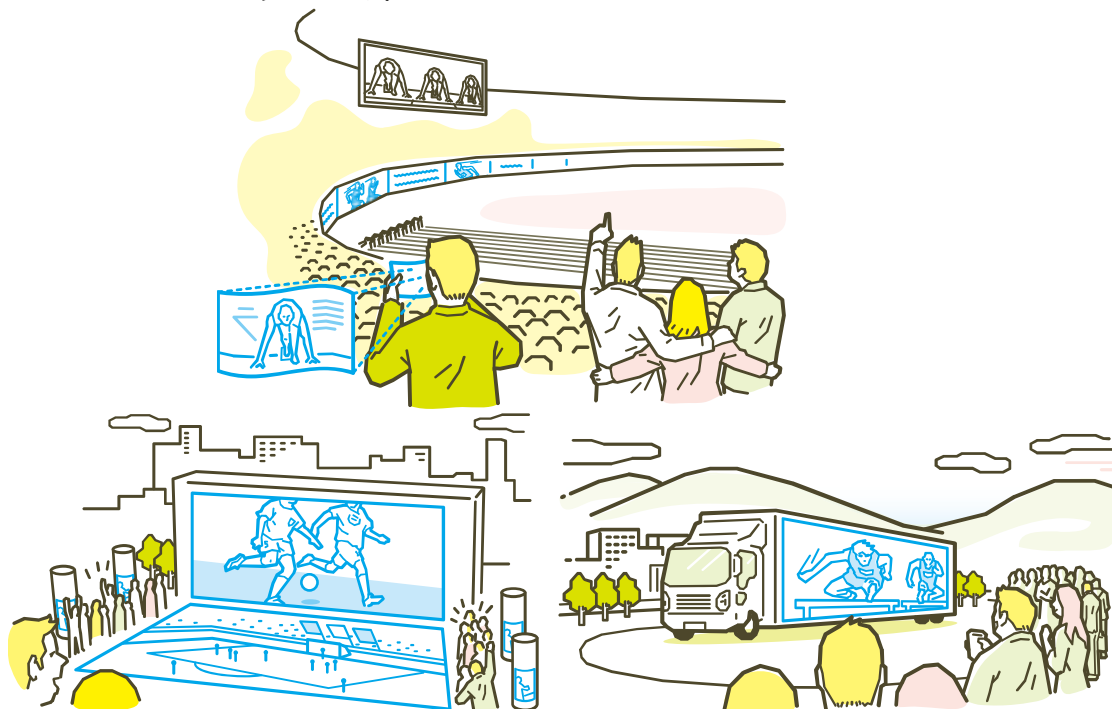
床面プロジェクション立体映像

床面に立体映像を映写できるプロジェクターとスクリーンにより、競技場外でサッカーや水泳競技をよりリアルに観戦することができます。

従来技術に比べて省エネ性・軽量・薄型・フレキシブル性の飛躍的な向上を実現する、有機ELを用いたインタラクティブシートディスプレイ技術や、低コストで大量生産可能なプリントエレクトロニクス技術を用いた電子ペーパー、デジタルサイネージ等の研究開発を実施しています。2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の会場やその周辺等において、次世代デバイスを活用した様々な情報発信を行う事が可能となります。

有機ELインタラクティブシートディスプレイ

軽量で折り曲げることのできる特性を活かして、観戦中の手元や会場、街中などの様々なシーンで、高精細な映像を楽しむことができるようになります。



チケット機能付き電子ペーパー

1枚所持するだけで、入退場ができるほか、競技状況や選手データをタイムリーに入手できるようになります。

